

練馬通信

No. 338

平成27年2月
練馬第二小学校
校長 岸 久雄

『充実した日々を』

校長 岸 久雄

寒い日が続いています。区内の小・中学校ではインフルエンザに罹患する児童が増え学級閉鎖等の措置をとるところも増えてきています。本校は、昨年末に多くの児童がインフルエンザに罹り、学年・学級閉鎖をしましたが、年が明けてからは、欠席する児童も少なく、みんな元気に学校生活を送っています。春までもう少しです。健康の管理には十分に注意していきたいものです。

一月は、道徳授業地区公開講座、校内書き初め展に多くの保護者の方々にご参観いただきました。また、区美術館で行われた連合図工展や書き初め展にも、多くの方が参観されたかと思えます。ありがとうございます。

一月の生活目標は、「元氣よくあいさつをしよう」でした。毎週月曜日の児童朝会では、看護当番の先生が、毎月の生活目標について、できている点

やもつとがんばってほしい点を子供たちに伝え、全校で達成できるように指導をしています。月末には、さらに代表委員会が朝のあいさつ運動を行い、「おはようございます」の声が学校中にあふれました。また、朝のきたえの時間に、全校で『あいさつ川柳』づくりをしました。今月は、いつも元気に気持ちのよいあいさつができる子供たちがさらにパワーアップして、学校中気持ちのよいあいさつが交わされたひと月になりました。

一月からの二学期後半は、一人一人の子供がもっている良い点や学んだこと、身につけたことを認め合い、学習や生活に生かし、次の学年への準備をすることを指導の重点にしています。高学年の子供たちの多くは、学校生活を重ねてきたことで、この時期に何をすべきかがわかってきています。「今年一年間の目標を立てる。」「自分の

成長を確かめる。」「次の学年に向けて準備をする。」などの言葉が、児童朝会での六年生のあいさつに出てきたり、教室に掲示されている一人一人の目標カードに書かれたりしています。今年度の登校日は、あと二十八日です。最後の日まで、みんな力で合わせて充実した学校生活を送っていききたいと思っています。



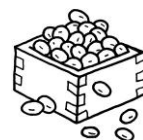
あいさつ川柳

全校児童が取り組みました。一年生は初めてなので、先生につくり方を教えてもらいました。二年生からは、自分で考えてつくりました。すてきな川柳がたくさんできました。各学年の代表作品を紹介します。

- あいさつは 心にひびくよ あったかい
二年一組
- ありがとう 優しい言葉で 仲よしだ
三年一組
- あいさつで 友達の輪を 広げよう
四年二組
- 寒い朝 おはよう一言 あたたまる
五年一組
- 友情が 深まる秘けつは あいさつだ
六年一組

二月の行事予定

- 2 (月) 委員会活動
- 4 (水) 月曜時間割 貫井福祉園交流 (五年)
- 9 (月) お話の会・クラブ活動
起震車体験 (六年)
- 10 (火) お話の会
- 11 (水) 建国記念の日
- 12 (木) クラブ紹介集会
- 13 (金) 安全指導 避難訓練・煙体験 (二・三年)
- 14 (土) 学校公開・水曜時間割
二分の一人式 (四年)
- 16 (月) PTA総会
- 17 (火) 新一年生入学説明会
一、二年生午前授業
- 18 (水) 午前授業 (区教育研究会)
- 20 (金) 保護者会 (五、六年) 五、六年生五時間授業
情報モラル教室 (五校時・五年)
(六校時・保護者向け)
- 24 (月) クラブ活動
クラブ見学 (三年)
- 25 (火) 保護者会 (三、四年) 三、四年生五時間授業
- 26 (木) お別れスポーツ大会 (五、六年)



★今月の生活目標

・ じょうぶな体を作ろう。

★週の生活目標

- ・ 上着をぬいで遊ぶ。
- ・ 寒さに負けず元気に遊ぶ。

ユニセフ募金にご協力

ありがとうございました

特別活動主任 柳井 裕美

今年度も十二月十七日から、代表委員会を中心にユニセフ期間を実施しました。

代表委員の子供たちは、朝会を使い、ユニセフ募金について工夫して発表しました。世界地図を出して世界を意識させたり、わかりやすいクイズで問いかけたりできました。最後に、ユニセフが行っている活動についてのビデオを全校児童で見ました。きれいな水が飲めずに病気になる、亡くなってしまったり、学校に行けなかったりする世界の子供たちがユニセフの活動で笑顔を取り戻す様子を、みな真剣な表情で見つめていました。

ユニセフについてのビデオはそれぞれクラスごとに続きを見てもらいました。クラスごとに続きを見てもらいました。子供たちなりに心に感じたものがあるようでした。一年生の保護者の方から、「とても悲しかった。」と言って、自分のお小遣いから募金袋に入れていました、と知らせてもらいました。練二小の子供たちの優しい気持ちは、きっと世界の子供たちにも届くことでしょう。

募金は、代表委員で分担して、今年は各教室や廊下で集めました。代表委員一人一人が事前に準備した自作の募金箱には、たくさん募金が集まっています。



おかげさまで今年度は、「三万六千五百九十六円」集まり、ユニセフ協会へ送金しました。集まった募金で、「汚れた水を安全な水に変える薬」が三万八千六百四錠買うことができます。皆様の温かいご協力、本当にありがとうございました。

校内研究について

研究主任 小倉 哲治

本年度の練二小の研究は「主体的に学ぶ児童ももっと知りたい、考えたい、伝えたい」というテーマで行ってきました。練二小の児童は色々なことに対する興味関心が高く、素直で感受性が豊かです。その特性をさらに伸ばし、児童が自ら進んで学ぶことができるように、本研究テーマに取り組みました。

本研究で我々が取り組んだのが「グループでの話し合い」「児童同士による相互指名」「単元を貫く問題意識を持続させるための学習問題作り」など、児童が主体となる活動です。また、教材や学習の展開の仕方も工夫して、児童が受け身ではなく、自ら知識を獲得したり課題を解決したりできるように努めてきました。

授業研究は、終わりのあるものではありません。これからも主体的に学ぶ児童を目指して、研修していきたいと思えます。

二分の一人式に向けて

四年担任 北原 彰

四年生は、二月十四日（土）の三、四時間目に体育館で、「二分の一人式」を行います。

「二分の一人式」は、十歳を迎えたことを祝い、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの夢や目標にむけての決意を表明する式です。

子供たちは、総合的な学習で学んだ「広告小学校」でのCM作りの経験を活かし、「自分探検CM」を作成しています。「自分探検CM」は、自分自身を探検し、自分の個性や強み、夢や目標を再発見する学習です。この学習では、子供たちが、自分自身を見つめ、自己理解を深め、自分のもつ良さや可能性に気付き、自信を深めたり、これからの生き方を見つめたりすることをねらいとしています。「二分の一人式」当日は、子供たち一人一人の自分探検CMを鑑賞します。ご期待ください。

また、当日は「二分の一人式証書授与」や「十歳の記念日」の合唱も行います。各クラスからの有志による「二分の一人式実行委員会」の子供たちが、休み時間や放課後の時間を利用して、プログラムや案内状の作成、会場の装飾、司会原稿の準備などを行っています。

「二分の一人式」に向けて、学年が一丸となっています。共にお互いの成長を祝い、感謝の気持ちを大切にしたいと思えます。子供たちの、思い出に残る会になるよう取り組んでまいります。

少年数算数指導の学習

少年数算数指導 本多 春光

この一年、少年数算数指導担当として、担任の先生と連携し、算数の「基礎・基本」の定着に力を入れ、わかりやすい授業を心がけてきました。

「かけ算・わり算の筆算」や「小数のかけ算・わり算の筆算」等の難しい単元の学習では、児童の希望と教師の助言により、習熟度別指導を取り入れました。「自分にあつたコースを選べる」「わからないところがわかるようになった」という児童の声を聞くことができました。

一所懸命、問題解決に取り組む児童の姿は美しいです。「わかった!」と叫ぶ児童の瞳はきらきら輝いています。「先生、今日の授業、楽しかったよ!」という一言は、涙が出るほどうれしいです。

また今日も、児童の目をきらきらさせるために、老骨に鞭打って、わかりやすい授業を心がけたいと思えます。

